

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-30C	16-033	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol Intake and Risk of Thyroid Cancer: A Meta-analysis of Observational Studies. 飲酒と甲状腺がんリスクについて：観察研究のメタアナリシス		
執筆者		
Hong SH, Myung SK, Kim H; Korean Meta-Analysis (KORMA) Study Group.		
掲載誌		
Cancer Res Treat. 2016 Jul 7. doi: 10.4143/crt.2016.161. [Epub ahead of print]		
キーワード		PMID
甲状腺がん、飲酒、ケース・コントロール研究、コホート研究、メタアナリシス		27456949
要 旨		
<p>目的： 飲酒と甲状腺がんの関連について、観察研究のメタアナリシスを行なった。</p> <p>方法： 飲酒と甲状腺がんに関する 2015 年までの論文を PubMed、EMBASE で検索し、オッズ比または相対リスクと 95%信頼区間が記述された横断研究、ケース・コントロール研究、コホート研究を用いてメタアナリシスを行なった。</p> <p>結果： 1964～2013 年に 12 カ国で行なわれた 33 の研究が対象となり、全体で 3,113,679 人のうち、7,725 人が甲状腺がんを発症した。対象者の平均年齢は 48.5 歳、女性が 74%、追跡期間は 7.2～23 年であった。メタアナリシスの結果、最多量飲酒群では最低量飲酒群に比べて 36% の甲状腺がん発症リスク低下が認められた。このリスク低下は、ケース・コントロール研究では 23%、コホート研究では 30%であった。また、甲状腺がんの種別（乳頭がん・乳頭がんまたは小胞がん）や、対象者の性別、飲酒量、研究の質等で分けて解析した結果も同様であった。</p> <p>結論： 本メタアナリシスの結果、他の大部分のがんとは異なり、飲酒は甲状腺がんのリスクを低下させることが示された。</p>		